



コミュニティ・スクール

与進中 C S だより

令和7年3月発行
発行責任者：
CSディレクター

令和6年度は4回の学校運営協議会が行われました。

●第1回 学校運営協議会（5/2）※詳細につきましては令和6年5月発行のCSだよりをご覧ください。

●第2回 学校運営協議会（7/10）

1学期の教育活動の振り返りや本年度の目標について熟議しました。学校からは家庭科のボランティア支援（1年生「ファイルカバー作り」2年生「着物の着付け」）をお願いしました。

●第3回 学校運営協議会（10/15）

家庭科の支援について熟議しました。ボランティアさんの募集方法、日程、サポート内容等詳しく話し合いました。1年生の「ファイルカバー作り」では、1/14からボランティアさんによるサポートが始まり、保護者・地域の方々が参加してくださいました。出来上がりは来年度になりますが、素敵な遠州綿紬のファイルカバーが出来そうです。



ファイルカバー作りの様子



遠州綿紬



印付け



まつり縫い

●第4回 学校運営協議会（2/19）

今年度の学校評価（アンケート結果）をもとに教育活動の振り返りをし、来年度の学校運営の基本方針や学校運営協議会の自己評価をしました。

3月6日と7日の2日間、2年生は「着物の着付け」の授業を行い、生徒たちは着物の着心地を体験しました。ファイルカバー作り同様、ボランティアさんに着付けの指導をお願いしました。浴衣や帯・小物等は保護者や地域の方からお借りしました。ご協力ありがとうございました。

着物の着付けの様子



生徒

- ・実際に着付けてみて想像以上に複雑で難しく時間のかかる作業だと分かりました。和服を着ているのを見てすごく素敵だったので自分も祭りや行事で着る機会を作りたいと思いました。
- ・私は着付けの担当をして洋服と比べると時間もかかるし難しいと感じました。だけど着ている子みんないつもより大人っぽくなっていてかっこいいと感じました。

ボランティアさん

- ・生徒さん達が楽しそうで先生方もお手伝いしてくださり、とても盛り上がっていた。
- ・今回は時間の関係で着物を着る生徒と着せる生徒と分かれていたが、みんなに着せてあげたかった。
- ・自分の国の服（和服）を着る体験は良いこと。
- ・ボランティアさんがもう少し多いと助かる。
- ・自分で着物が着れるようになると着物が身近になり良い。

来年度もボランティア活動を通し、生徒たちを応援していきます。地域の皆様のご協力をお願いします。